

2019年11月16日(土)

東京都医師会講演

# 東京都の 外国人患者受入れの 現状

東京大学医学部附属病院

国際診療部 山田秀臣

# 本日のお話

- 外国人患者の分類と都内の傾向
- 在留外国人患者
- 外国人旅行客からの患者
- リスクのお話
- まとめ

# システム・組織が望まれる

国際診療部→その後日本の大学病院へ

2012年秋に正式稼働

- 外国人医療者受入れ
- 海外Inbound患者対応
- 職員教育
- 院内環境整備



# 病院の国際化

## 対応を迫られる現場

- 在住外国人患者
- 外国人旅行者
- 渡航外国人患者



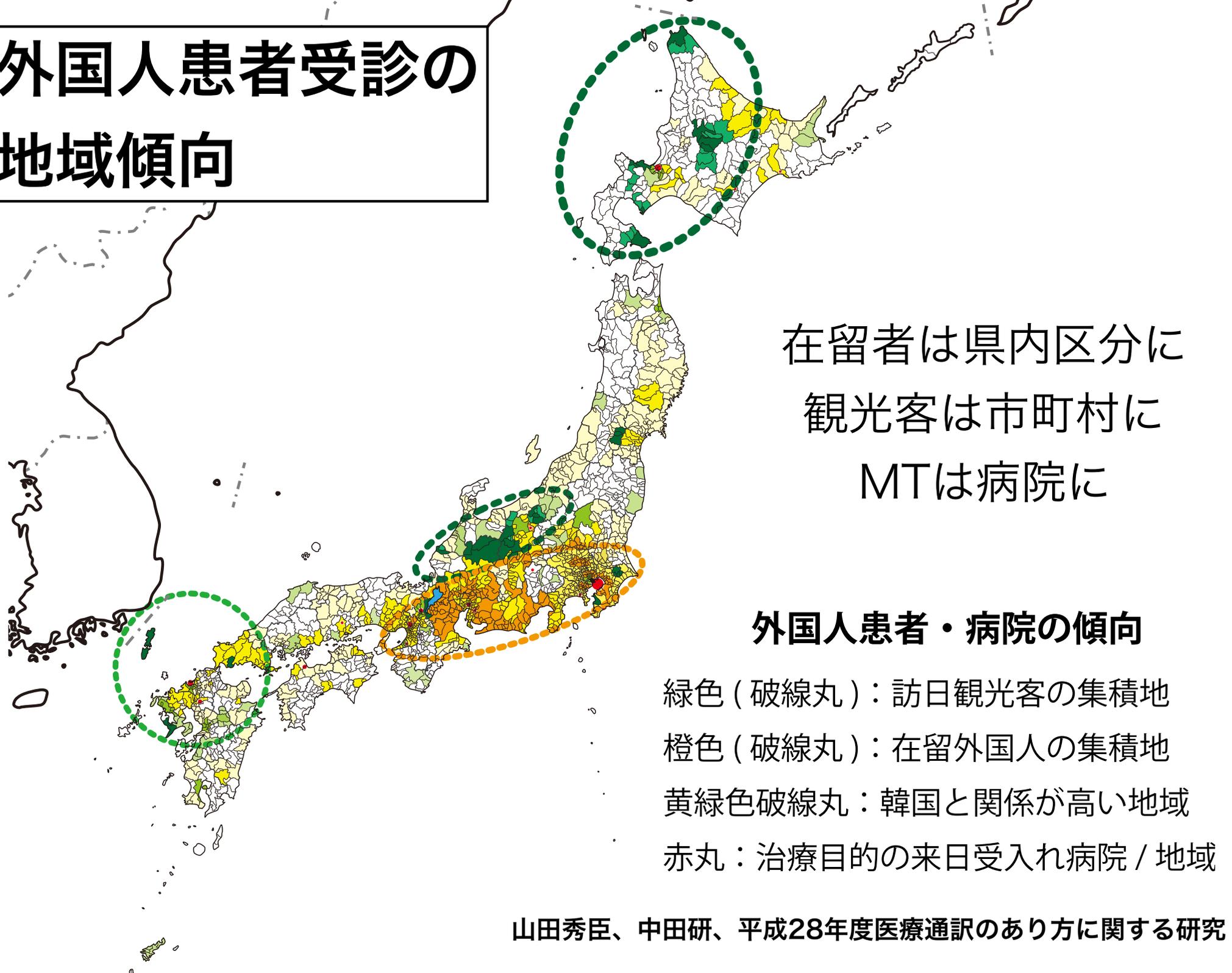
メトロポリタン都市, Tokyoからみる外国人患者の課題：  
2020年に向けて、山田秀臣、医学のあゆみ7月9日号、2016

# どのような患者に遭遇するか

## 外国人患者タイプ別医療機関受入れ割合（日本全体）

	外来	入院
在留（在住者）	75%	53%
訪日客（旅行客）	42%	25%
メディカル・ツーリズム （渡航患者）	17%	11%

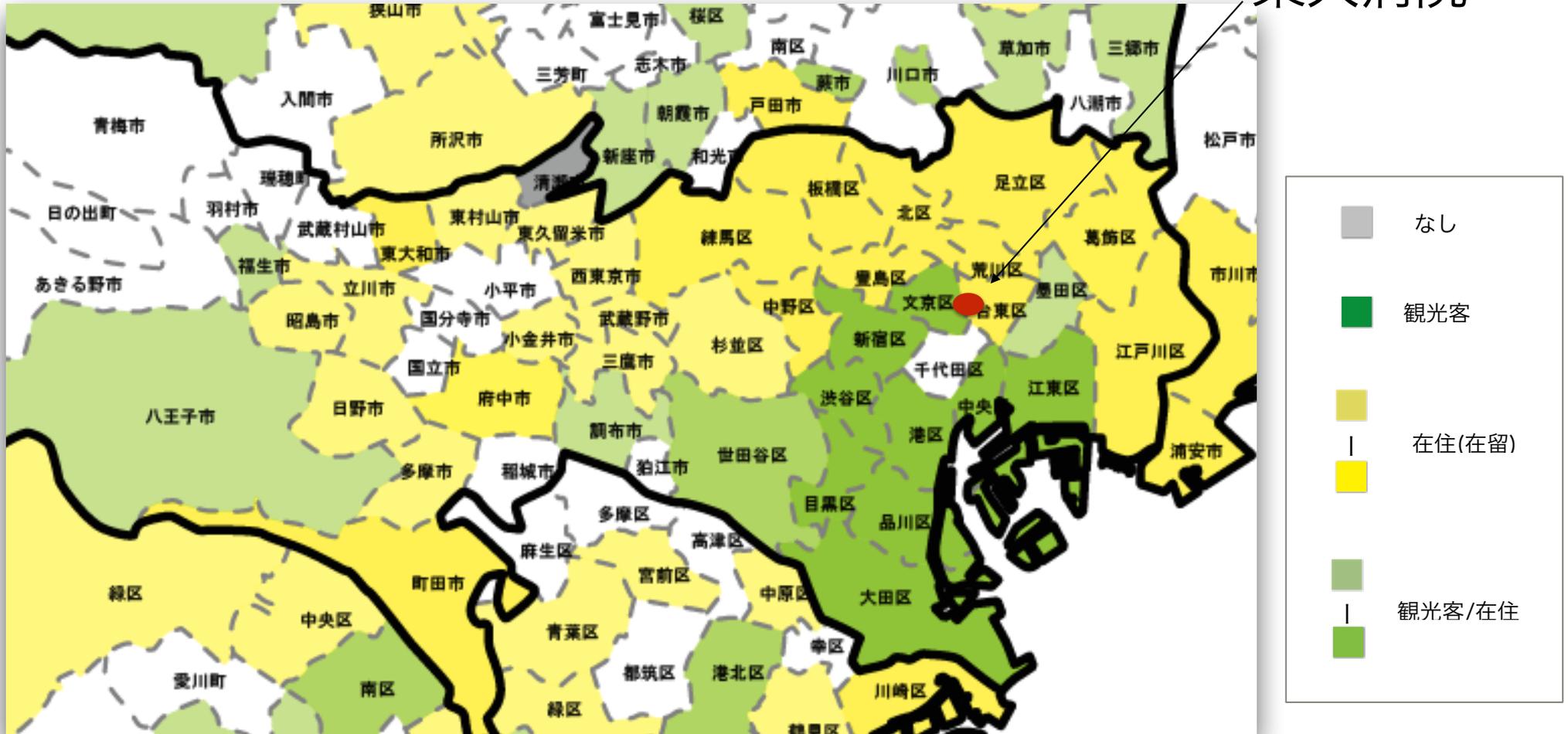
# 外国人患者受診の 地域傾向



# 東京都はどうか？

きれいに分かります

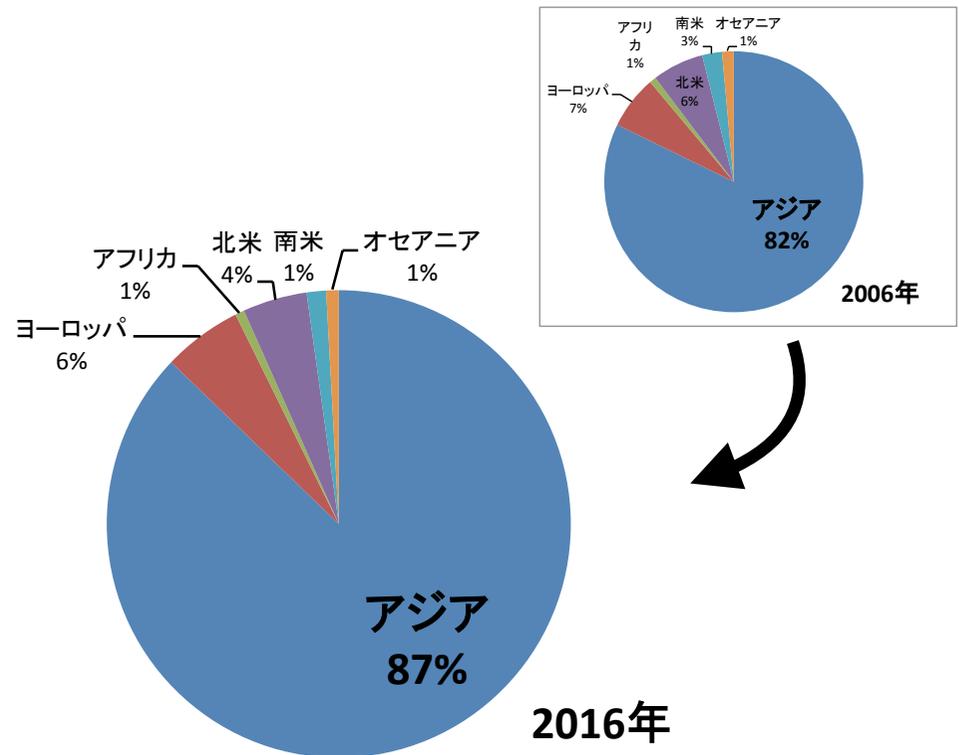
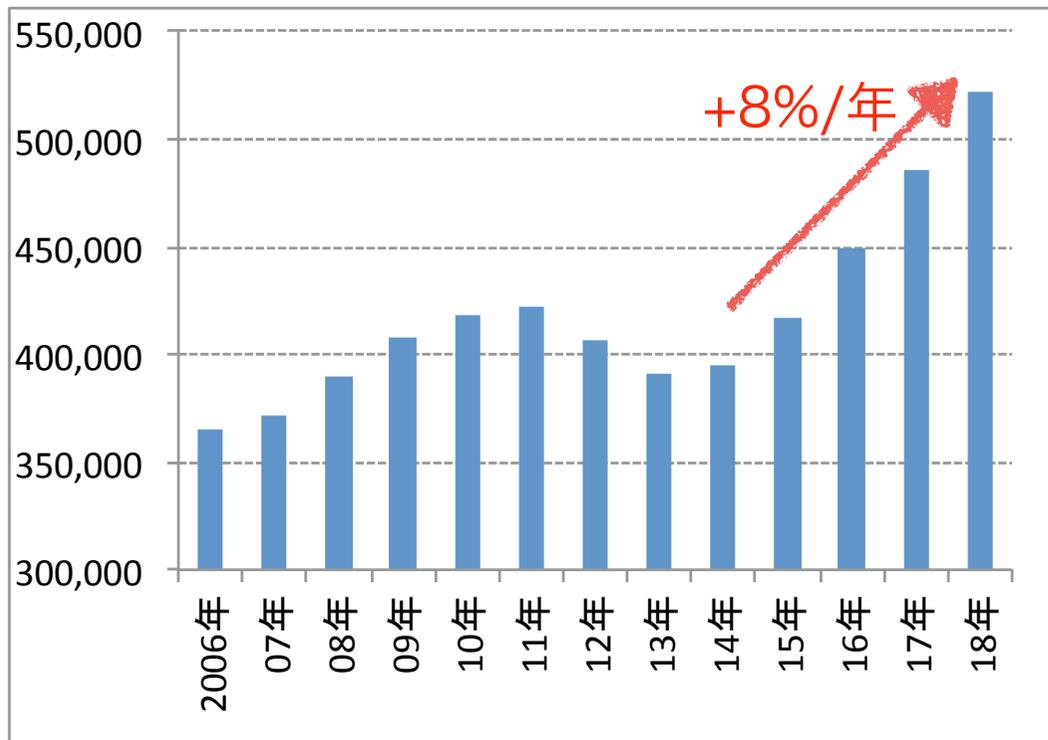
東大病院



山田秀臣、中田研、平成28年度医療通訳のあり方に関する研究

# 在留外国人の医療

## 東京都の最近の人口推移、背景

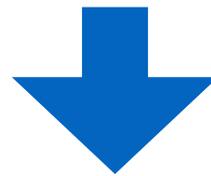


# 東京都に住む外国人

- 約4%は既に外国人（51万+3.5万/年）
- 区部で84%、人口比割合10%を越える区も
- 生活者として外国人対応整備が必要

東京都統計

<http://www.toukei.metro.tokyo.jp/index.htm>



外国人用医療窓口が不明瞭だった  
外国人医療（政策2018年～）

東京都医師会・島崎美奈子担当理事  
東京都福祉保健局

# 在留外国人の国籍

東京都の統計データから（直近10年間の変化）

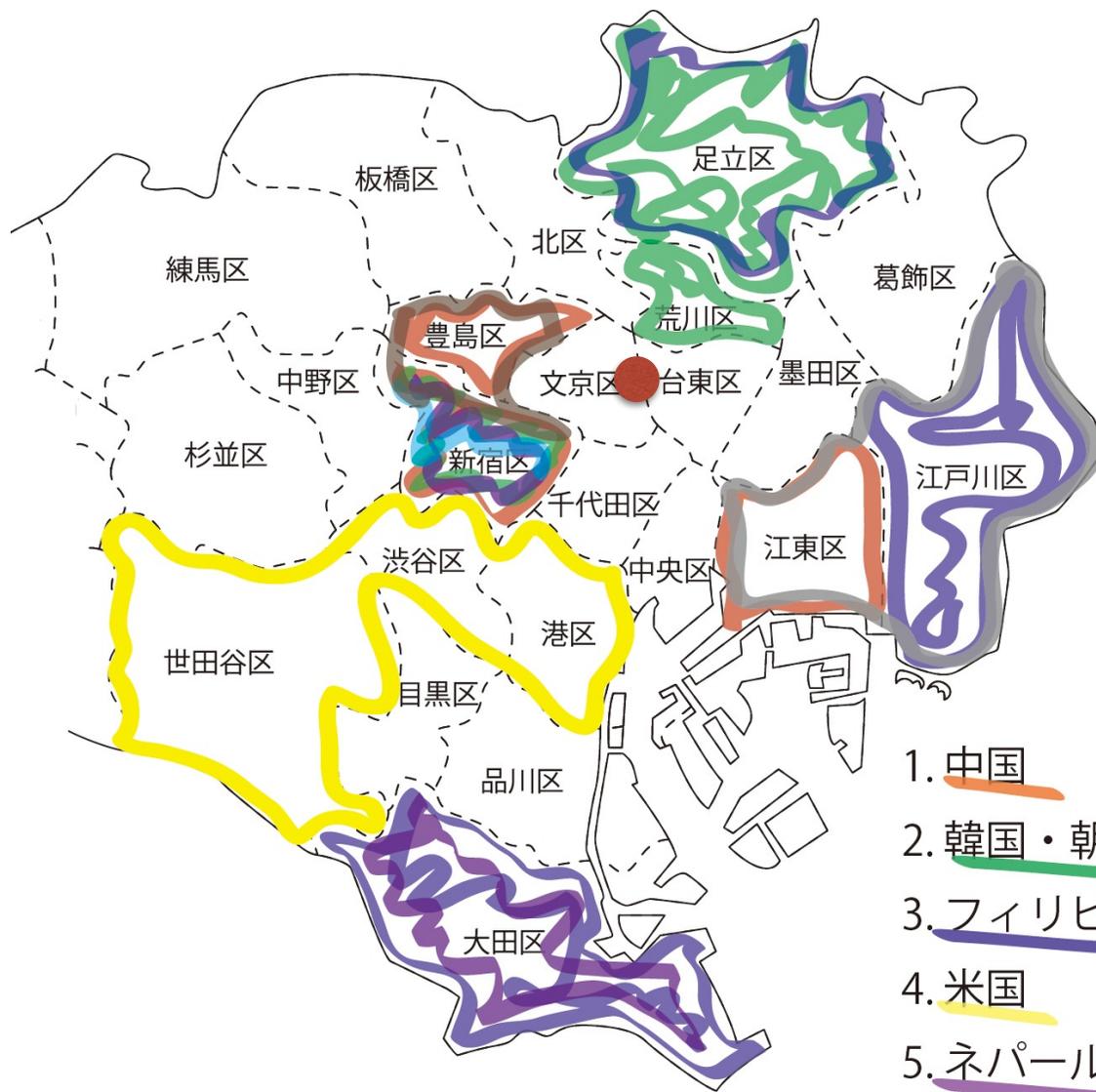
	国など	2009	2019	増加率
1	中国	145,320	213,767	147%
2	韓国・朝鮮	117,567	92,418	79%
3	ベトナム	3,246	36,227	1116%
4	フィリピン	31,974	33,219	104%
5	ネパール	5,083	27,290	537%
6	台湾		19,726	
7	米国	19,408	18,508	95%
8	インド	9,418	12,130	129%
9	ミャンマー	4,680	10,395	222%
10	タイ	6,907	8,101	117%

その他の内訳（東京都）

- ・ アジア 35カ国
- ・ ヨーロッパ50カ国
- ・ アフリカ 47カ国
- ・ 北米 21カ国
- ・ 南米 11カ国
- ・ オセアニア10カ国

▶逆に言えば世界中の17カ国以外は居住者はいる

# 都在留外国人：特色ある区域性



- 同じ民族は集積
- 地域=外国人=病院

1. 中国
2. 韓国・朝鮮
3. フィリピン
4. 米国
5. ネパール
6. ベトナム
7. インド
8. タイ
9. 英国
10. ミャンマー

\* タイには地域差はない 東京都外国人人口より図を作成

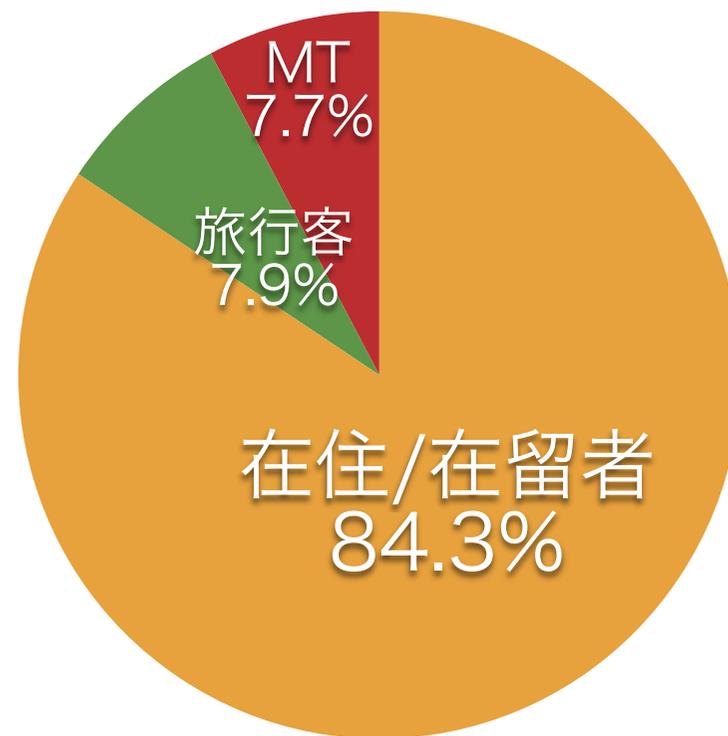
# 東大病院の現状-1

今の東京、日本の将来の縮図

## 全患者の初診患者数

MT: Medical Travel

	H26年度	H27年度	H28年度
外国人患者数	1,938	2,015	2,524
総患者数	48,987	48,255	48,573
割合(%)	3.96	4.18	5.20

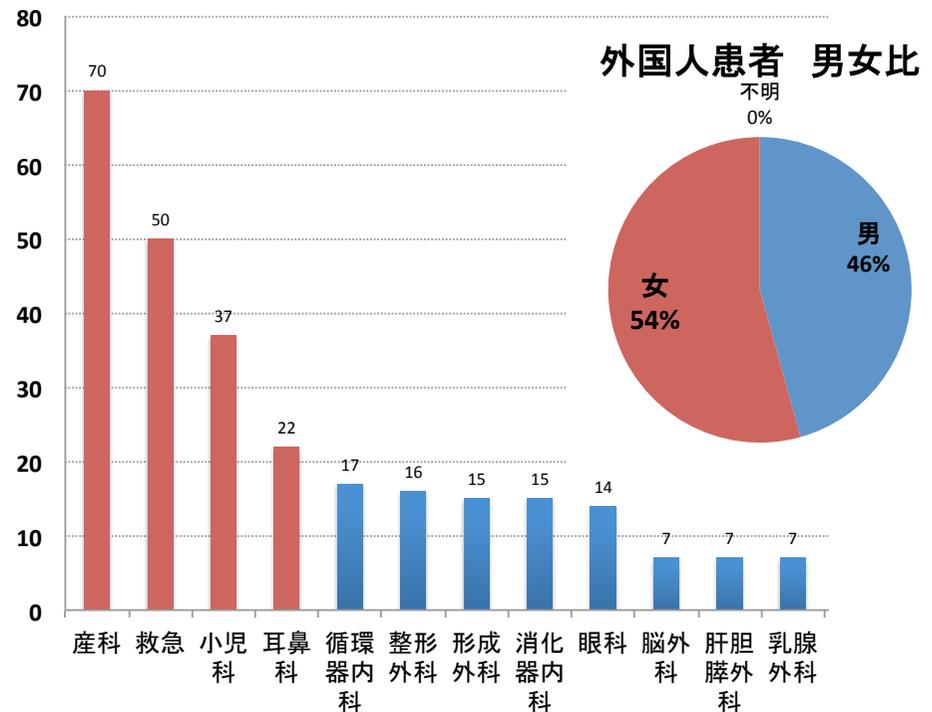
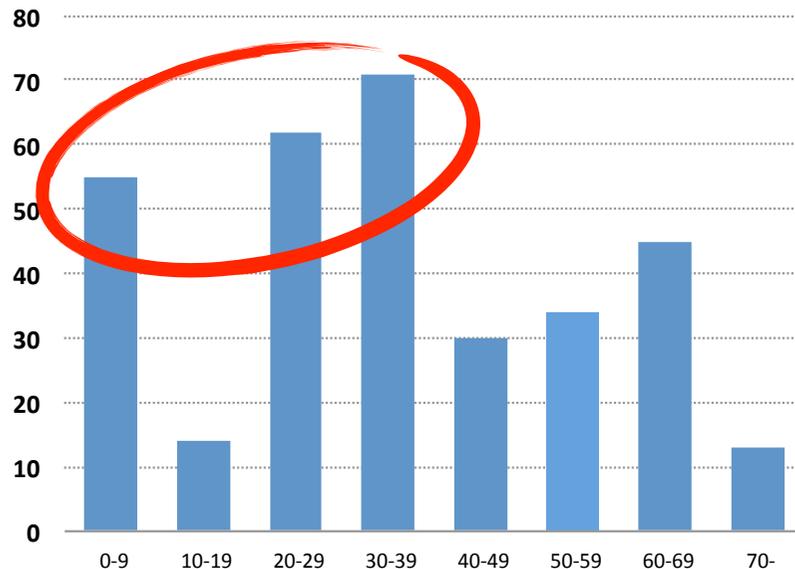


患者は既に国際化している  
東大病院内資料(2016年)

# 特徴を入院患者で見る

- 小児科、産科が多いのが特徴
- 40歳以上は日本人と同じ疾病（日本語力は別）

外国人患者の年齢別傾向



# 在留外国人患者のまとめ

多文化共生社会へ医療も脱皮

- アジア、非英語が増加
- 特定の診療科、日常の患者
- 地区によって国籍が異なる
- 保険診療内で対処（外国人患者コスト+3-5万/人\*）

→多言語対応を安い費用→電話通訳の利便性

\*平成29年度厚生労働省科学研究「医療通訳の費用対効果」

# 外国人旅行者の特徴

4,000万人達成のその前に



2018年は3,000万人↗

東・東南アジア↗

欧米はたった約1割

# 訪日外客<sup>↗</sup>、国策ですよな？

出国税は医療対策にも使えます！声を出していきましょう

- 1.5%の旅行者が医療機関に行く必要があった。
- どの医療機関へ行くか聞くのはホテル（民泊2.6%<sup>↗</sup>）、保険会社、観光案内所。実際半分以上はあきらめている。
- 旅行保険加入73%。仕組みを知っていますか？  
→信用診察は危ない。Pay & Claim（患者支払い）

診断と治療、2018年11月1日、外国人患者の医療費対策

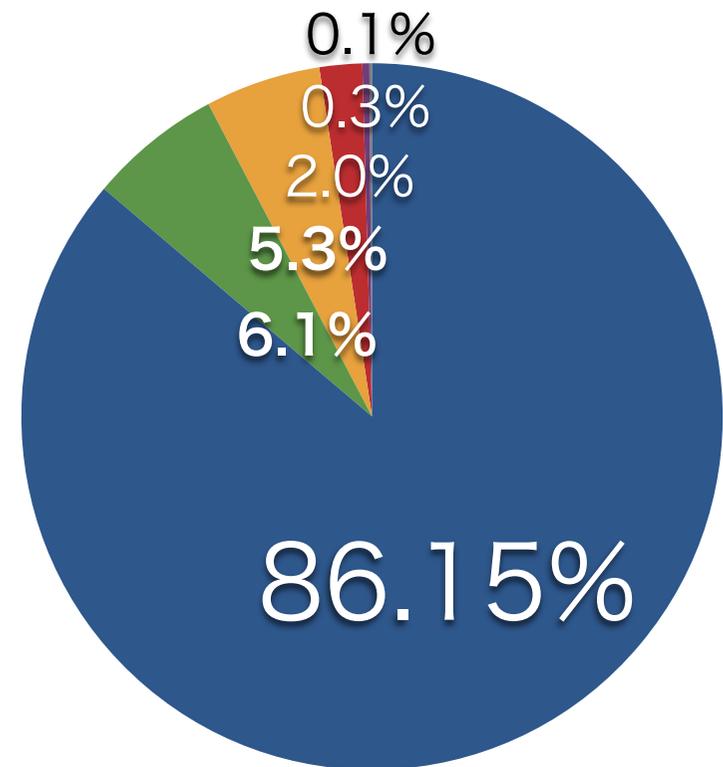
訪日外国人旅行者の医療に関する実態調査2018など



# 訪日外客について

- 観光庁が開示している最新データ(2018年4月)
- 総数 28,691,073人(2017年)

地域別	%
アジア	86.2
北米	6.1
欧州	5.3
オセアニア	2.0
南米	0.3
アフリカ	0.1



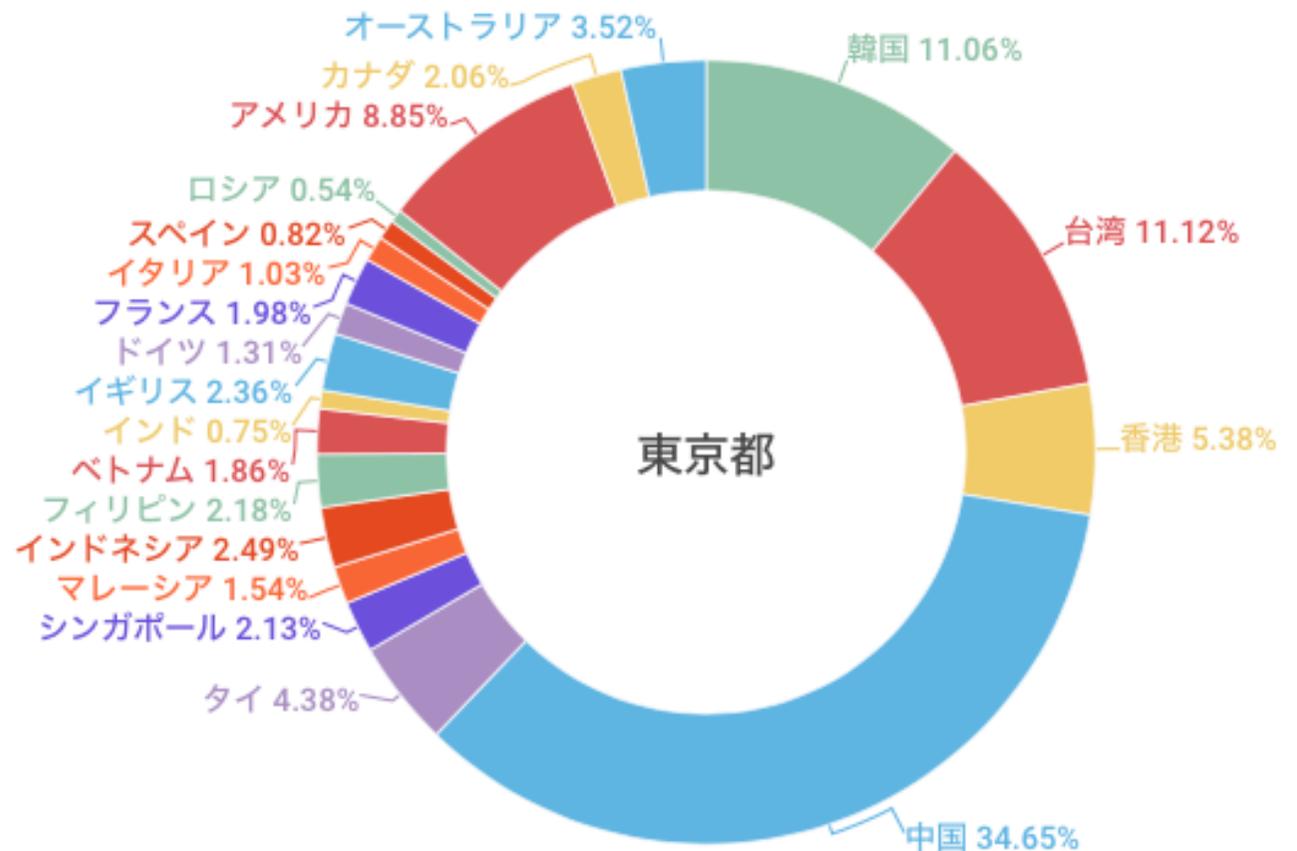
# 東京都の訪日客(1423万人)

## 東京都に来ている訪日外国人の割合

韓国↘、香港↘で  
中国の一人勝ち

多様性のある国籍

初めての日本



出典：訪日ラボ

# 東大病院の現状-2

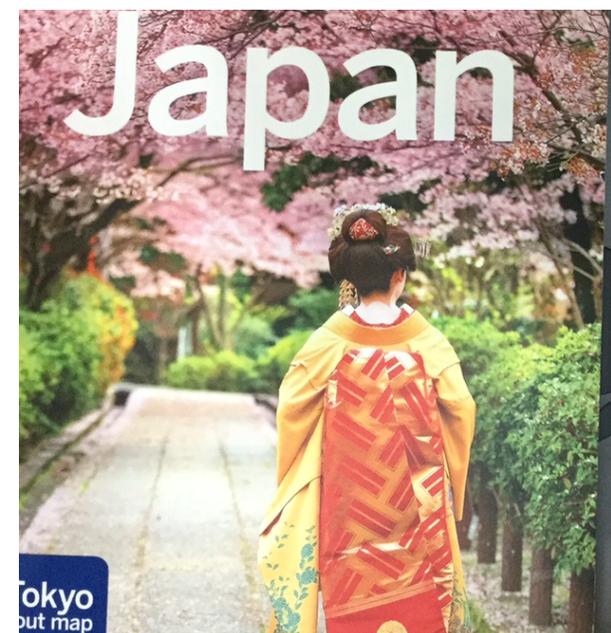
OH NO...



恐るべき事実→なぜか？

## 初診の救急外国人割合

救急	H26年度	H27年度	H28年度
外国人患者数	357	498	630
総患者数	5,108	5,702	6,096
割合(%)	7.00	8.73	10.3



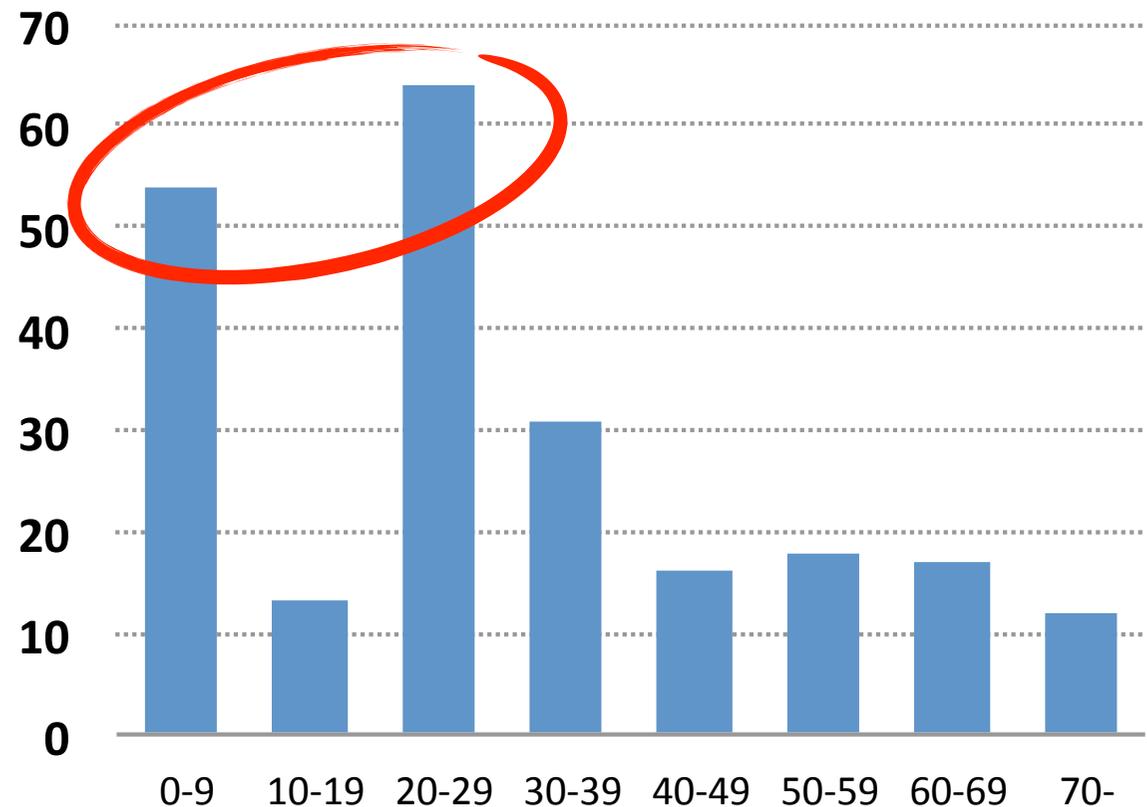
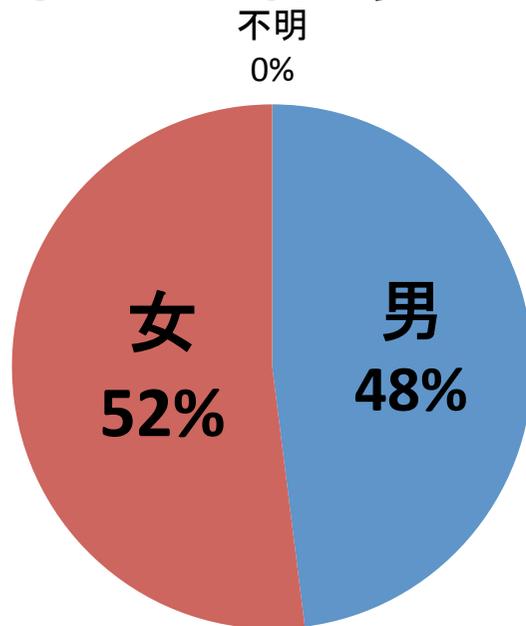
国際医療福祉大学  
岡村准教授の御指摘

# 旅行者（の患者） について

2014年8月～16年7月(2年間) 、 225名

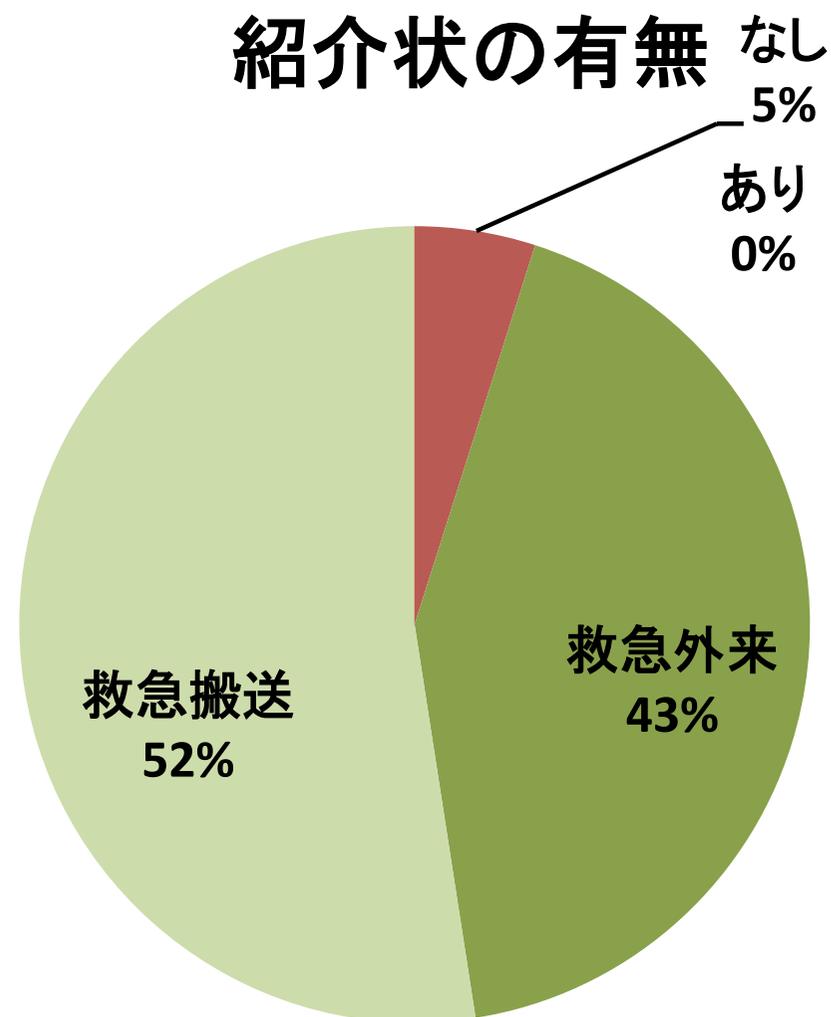
## 外国人患者の年齢別傾向

### 外国人患者 男女比



# どのようにやって来るか？

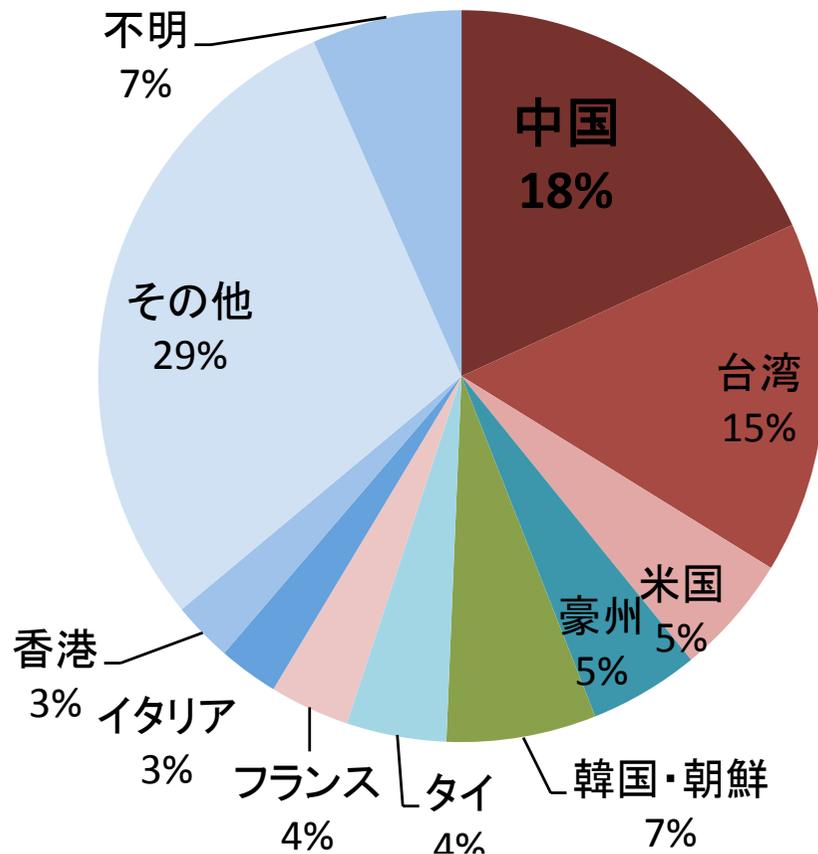
半分以上は救急車に乗って  
やって来る



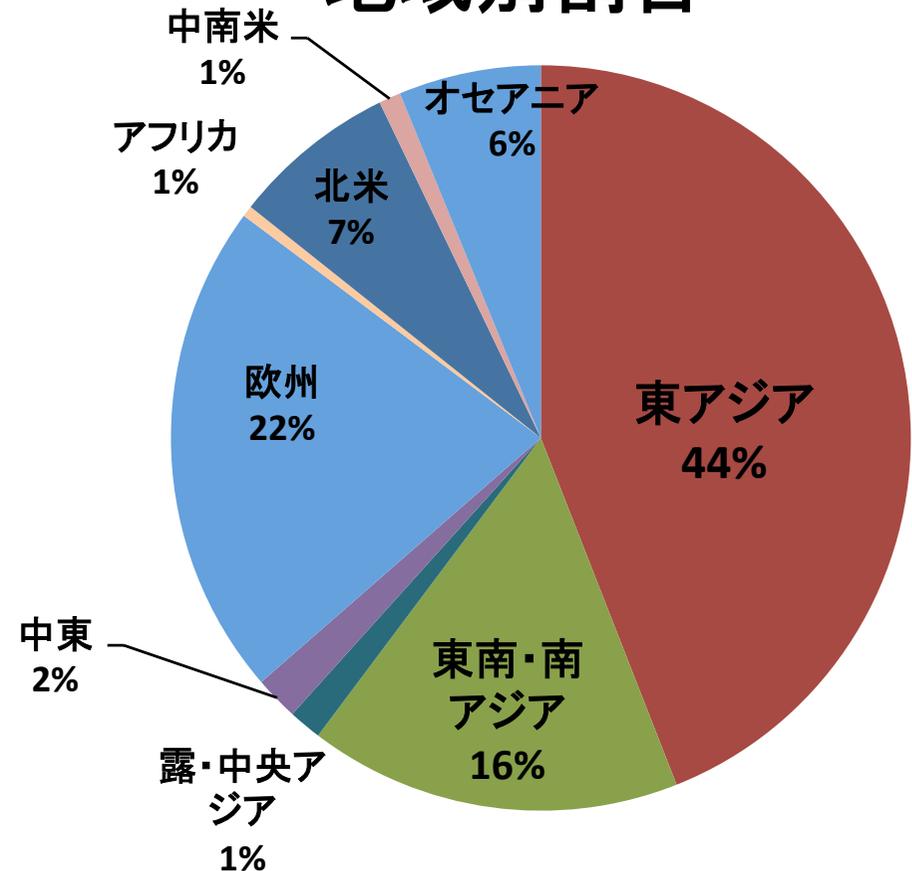
# 旅行者の国籍

東アジアも多いが欧米もそれなりにいる

## 国籍別割合(上位9カ国)



## 地域別割合





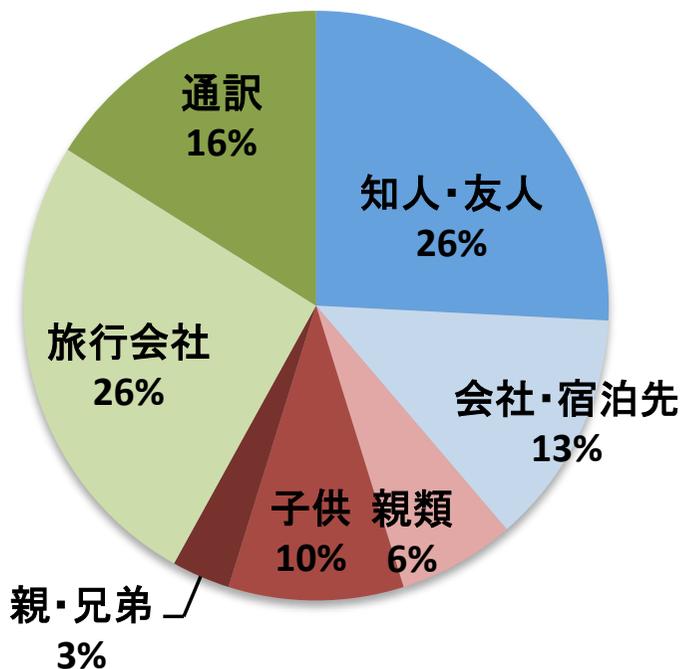
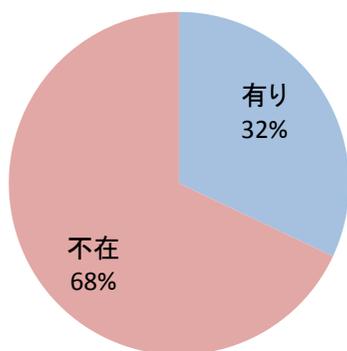
# 対応について

カルテに日本語がダメと書いてあった **40%**

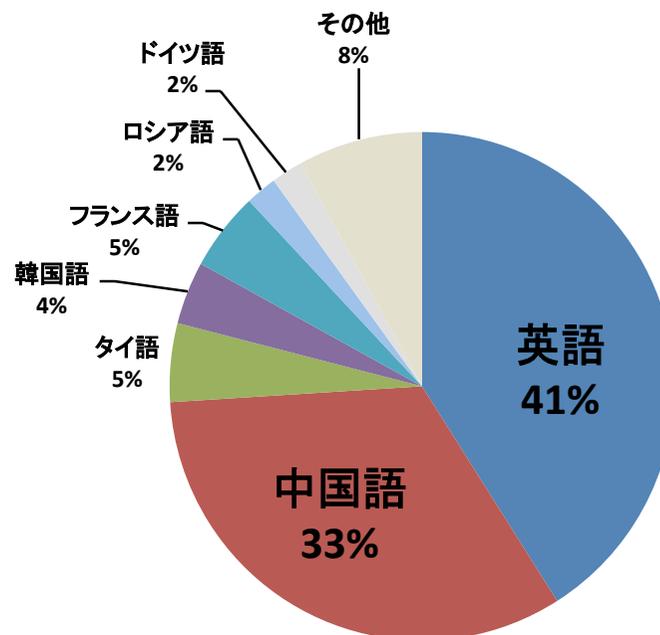
英語と中国語で**74%**

## 2-2 対応者の内訳

2 対応者の有無



4 患者の対応可能な言語

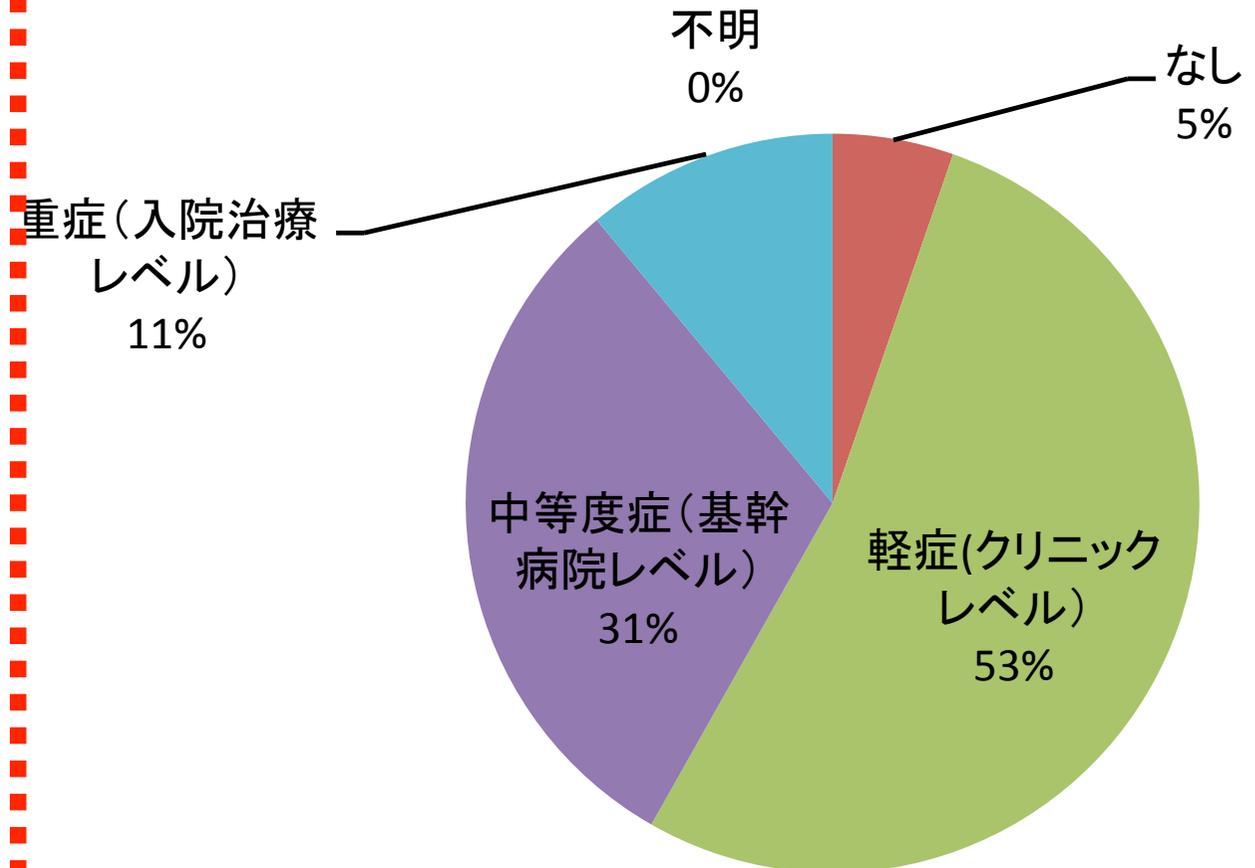


# 重症度は？

重症or軽症で、真ん中が少ない

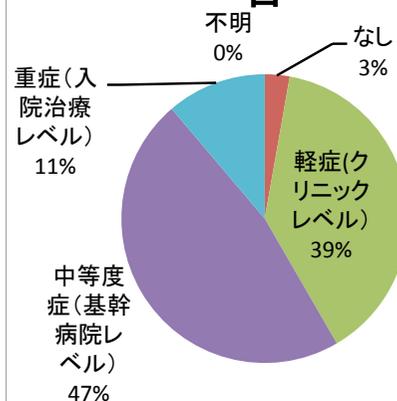
旅行者のみ

## 外国人患者重症度割合



## 外国人患者全体

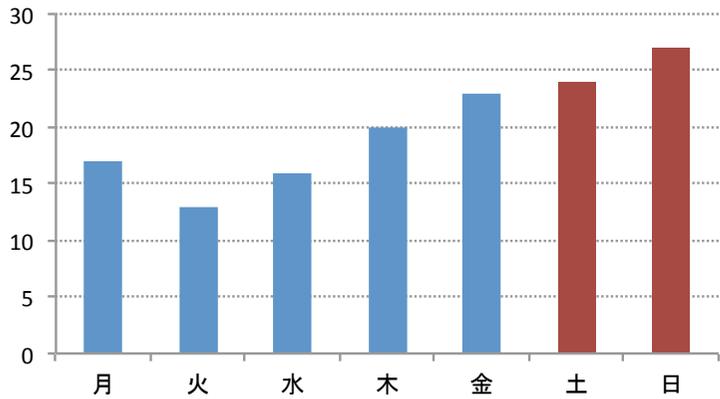
### 外国人患者重症度割合



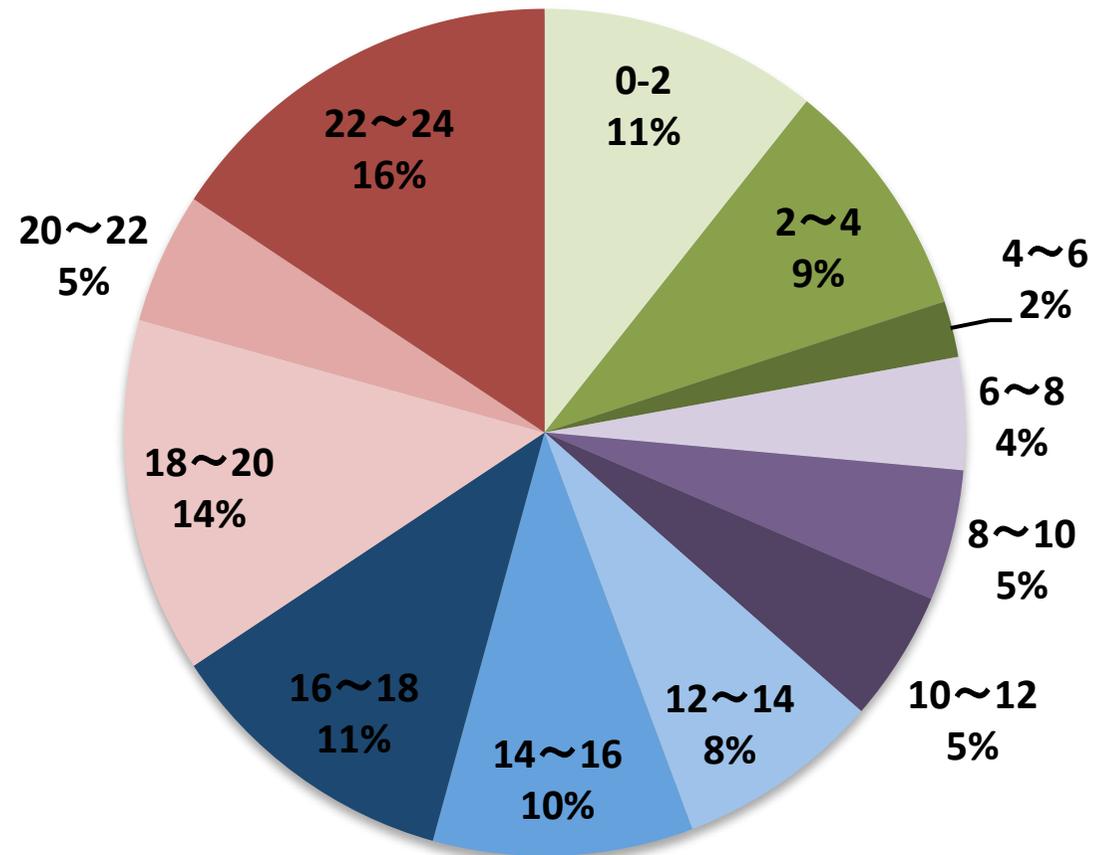
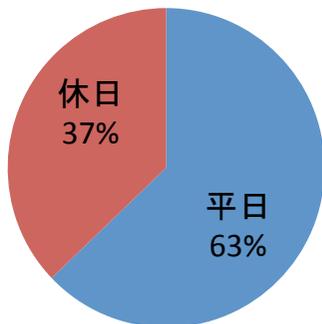
# いつ来るか？ 今かも

夕方夜間・週末が多い

## 来院時間



## 平日・休日割合

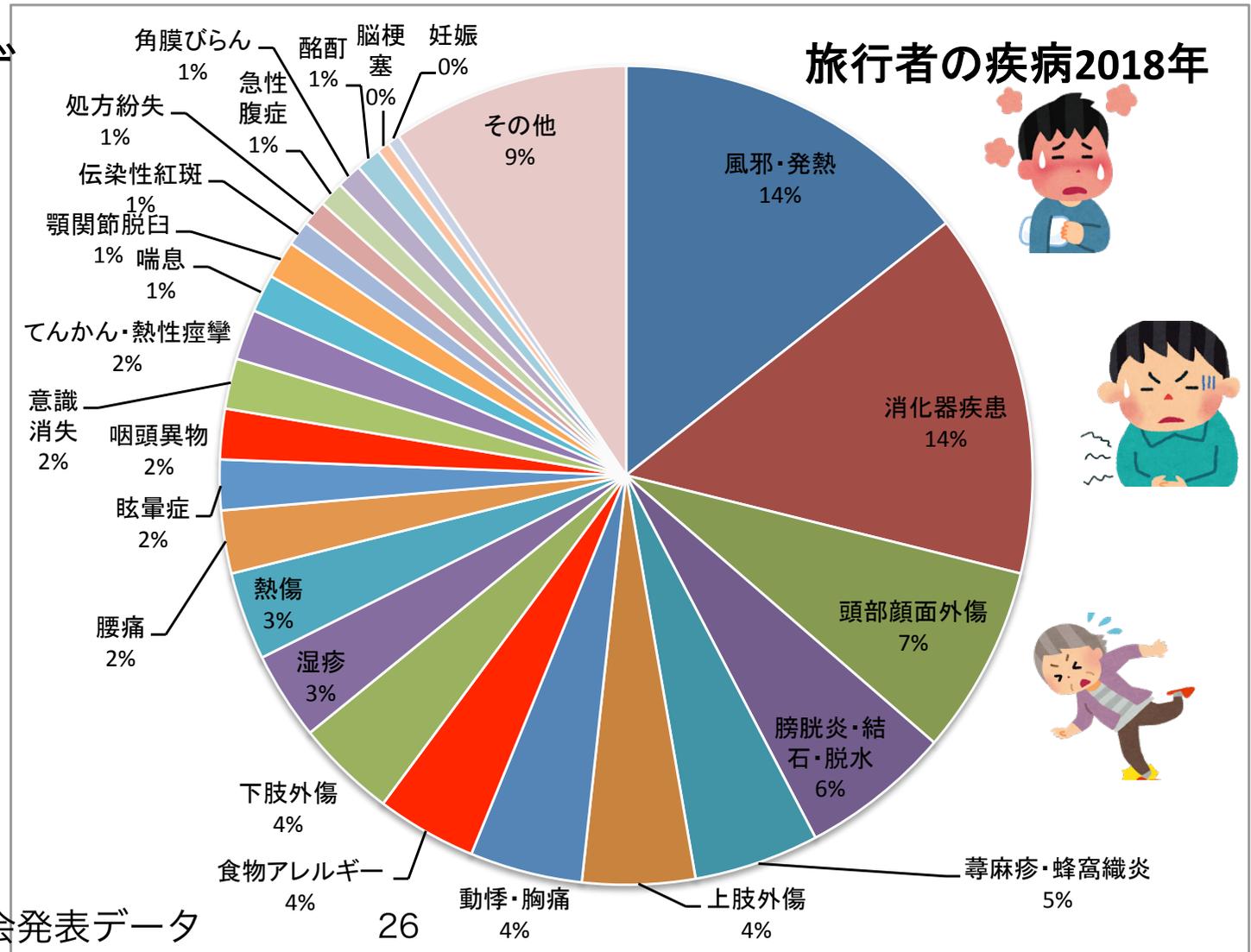


# どんな病気か？

## 怖い食物アナフィラキシー

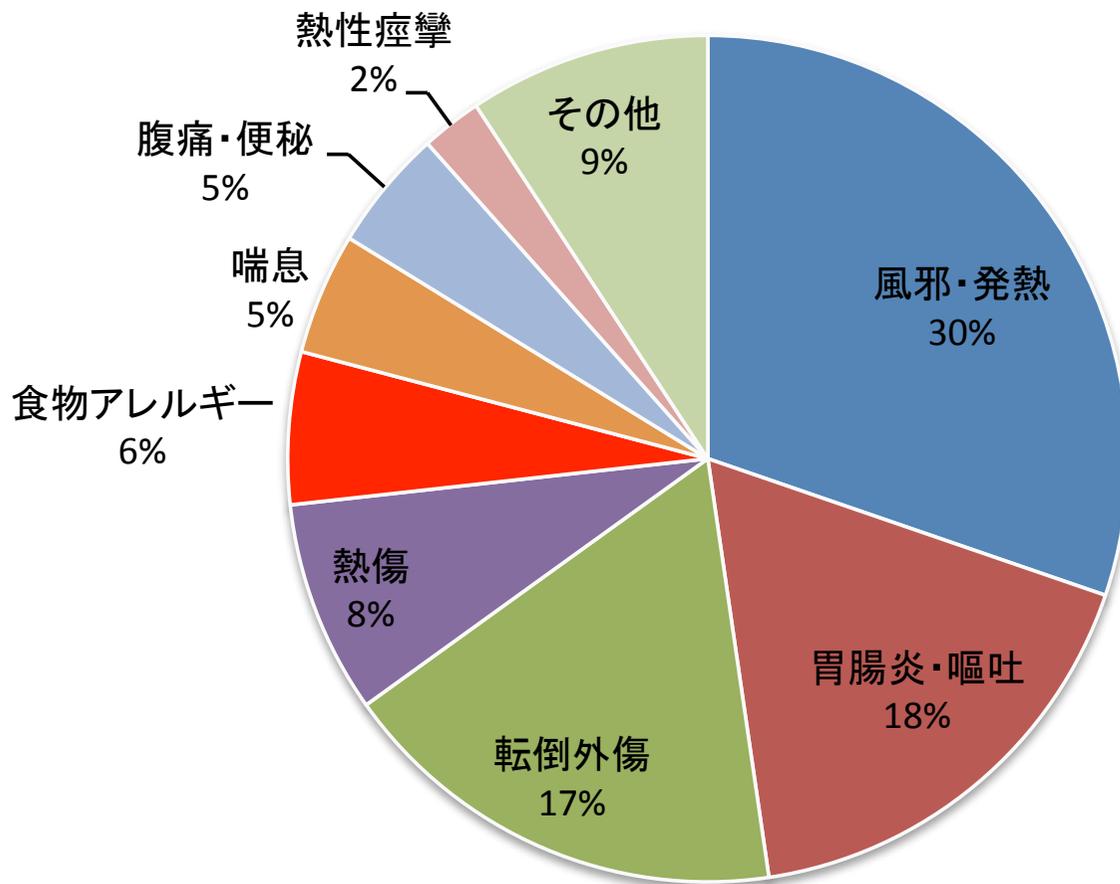
メインは変わらず

- 風邪
- 胃腸炎
- 転倒外傷
- 膀胱炎



# 旅行小児患者の病気は限定的

0-9歳までの疾患分類(n=86)



その他：鼻腔異物、耳孔閉鎖、鼻出血、中耳炎、水疱瘡、伝染性紅斑、発疹、機嫌不良

入院は5名(5.8%)

熱性痙攣 2名

食物アレルギー 2名

転倒外傷（骨折）1名

# どのくらいの確率か？

東京都心で年間100人がER対応、残りの99,900人は？

%	頻度	東京では	重症度	類似確率
6	1/15人	100万人	旅行中体調を崩す	
1.5	1~2/100人	22万人	医療機関へ行くべき疾病	
0.7	1/100人	10万人	医療機関へ受診	双子の出産
0.1>	1/1000人	1.5万人	入院する疾病	宝くじ4等1万円
0.0006	1~2/50万人 (180人/日本)	90人	重態な病気・事故	英国内で理想の女性に 会える確率
0.00015	1~2/100万 人	22人	死亡	四つ子の出産

中連協事務局からの調査報告などを再計算

# 旅行客の患者のまとめ

コミュニケーションスキル以外は問題ない

- ほとんどが軽症



- ホテルへ帰ってから、日中も
- なぜ救外？、救急車？、大病院？



東京都医師会の先生の協力なくして解決はありません

**新たな収入源とすべき → 課題解決**

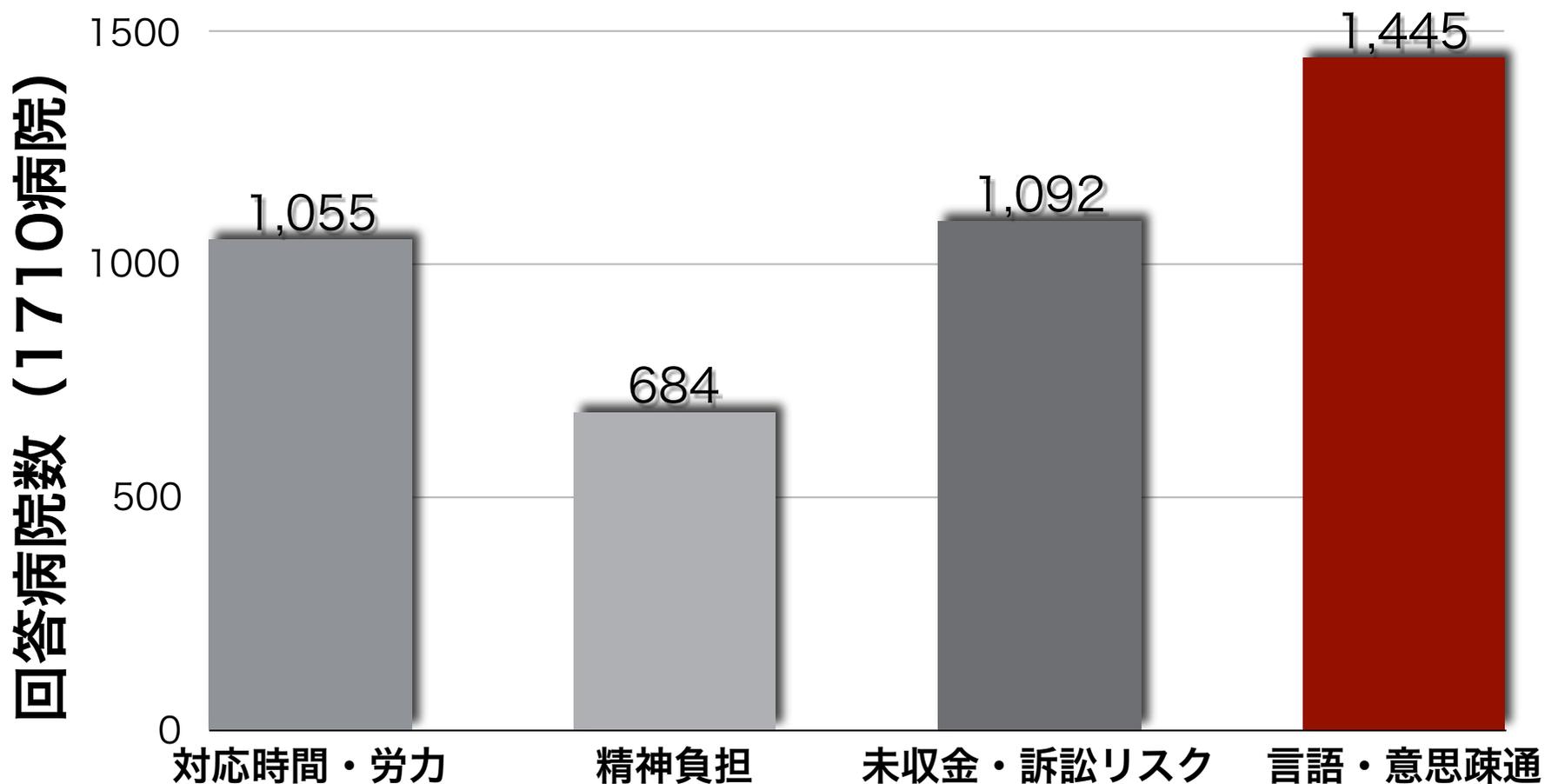
# リスク管理として

看護師さん、事務の方々より相談は？

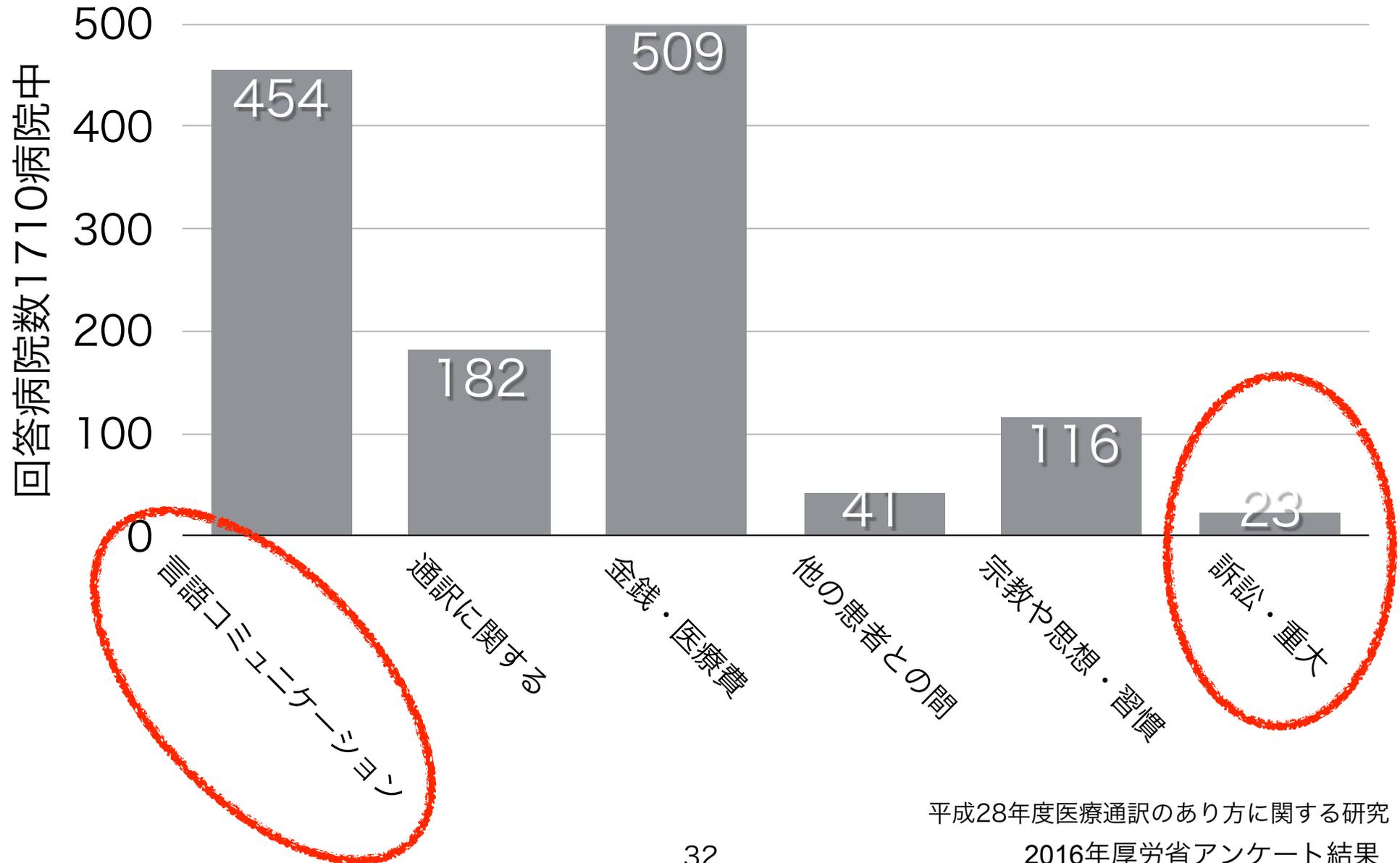
- ・ 相手の言葉がわからない
- ・ 患者の同意がとれない
- ・ トラブルが起きたら…

# 外国人患者の対応方針

## コミュニケーションとリスク（未収金・医療）



# 外国人患者のトラブル事例



# プロの目線

問題の先送りは現場の負担↗と国民の信頼↘



Safe ≠ Security

- 世界の医療は結果責任
- 通訳を使用するのは患者の権利
- 医療リスク↗、事実はある
  - ・ 対策していたが対応外であった→○（目指すところ）
  - ・ 対策していない→責任問題へ（ワーストシナリオ）

# 東京都の医療体制を国際化する

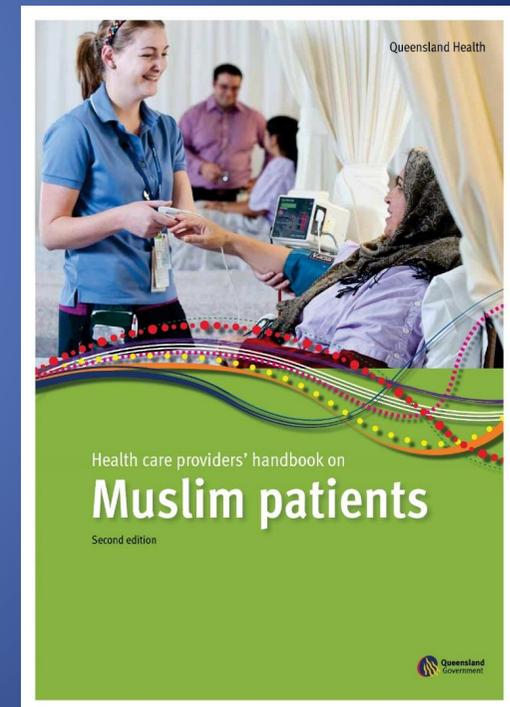
## システムを作る

- コストから電話通訳 >> 医療通訳の配置
- 住民はアジア多言語、観光客は急病
- リスク管理（何もやっていない？）

# 国際都市、東京都医師会の矜持

## WMA ジュネーブ宣言

『医師として年齢・疾病・もしくは障害・信条  
民族的起源・ジェンダー・国籍・所属政治団体  
人種・性的志向・社会的地位・あるいは  
いかなる要因でもそのようなことに対する  
配慮が介在することを容認しない』



島崎美奈子理事、外国人医療対策～東京オリンピック・パラリンピックに向けて～、  
日本医師会外国人医療対策会議、2018年7月4日

# One Teamで日本らしさを

同胞として、組織として

